

平成27年度業務報告書

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

1. 会務

(1) 総会の開催

1) 第72回定時総会

- ア 開催期日 平成27年6月25日(木)
- イ 開催場所 群馬県JAビル10階 第2会議室
- ウ 議事と決議事項
- 第1号議案 平成26年度貸借対照表、正味財産増減計算書承認の件
- 第2号議案 平成27年度会費並びに納入時期の件
- 第3号議案 平成27年度役員報酬決定の件
- 第4号議案 理事選任の件
- 付帯決議

(2) 会議の開催

1) 理事会

開催期日	開催場所	決議事項
27.6.8	群馬県JAビル 役員会議室	(1)第72回定時総会の招集について (2)第72回定時総会に提出する議題について (3)平成26年度業務報告、計算書類等の承認について (4)規程の変更について
27.6.25	群馬県JAビル 第3会議室	(1)副会長及び専務理事の選定について (2)理事に使用人職務を委嘱することについて
27.11.20	群馬県JAビル 役員会議室	(1)平成27年度変更事業計画及び補正予算の承認について (2)規程の制定及び変更について (3)群馬県優良和牛遺伝子保留基金の廃止と残額の家畜改良積立金への繰入について (4)事業内容の変更と変更認定の申請について
28.2.26	群馬県JAビル 第3会議室	(1)平成28年度事業計画及び収支予算の承認について (2)規程の変更について

2) 監査会

開催期日	開催場所	内容
27.6.2	群馬県JAビル 第5会議室	業務監査及び会計監査について

(3) 職務執行状況の報告

期日	報告場所	内容
27.6.8	群馬県JAビル 役員会議室	(1)平成27年度事業実施体系について (2)肉用牛肥育経営緊急支援事業支援金返還状況について
27.11.20	群馬県JAビル 役員会議室	(1)事業活動の概況 (2)事業費の執行状況 (3)事業及び経理上生じた重要事項 (4)行政庁に対する届け出のうち重要なもの
28.2.26	群馬県JAビル 第3会議室	(1)事業費の執行状況 (2)事業及び経理上生じた重要事項 (3)行政庁に対する届け出のうち重要なもの

2. 組織

(1) 会員

種別	27年度初	増加数	減少数	27年度末
正会員	53			53
特別会員	29			29
賛助会員	6			6
計	88			88

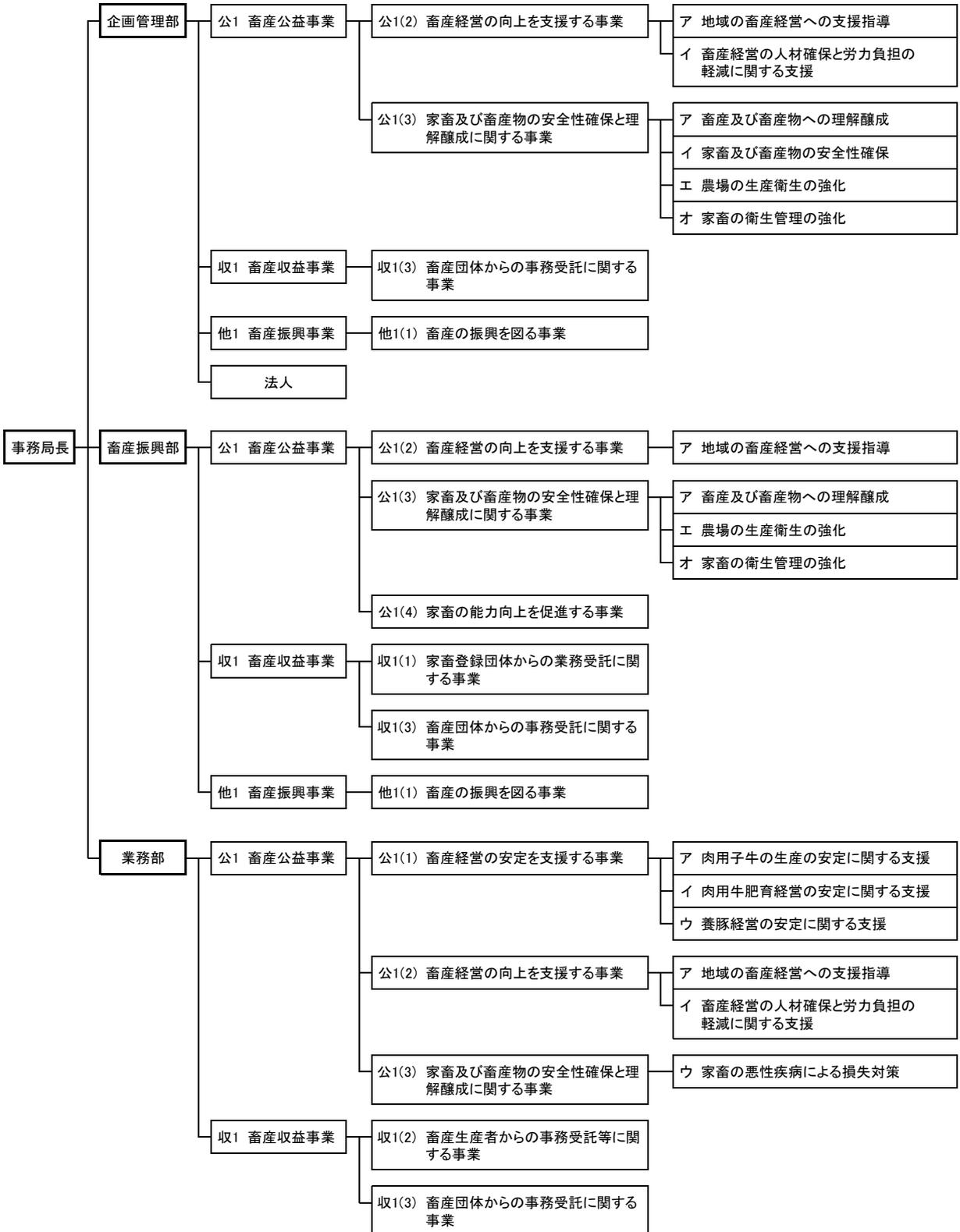
(2) 役職員数 (平成27年度末)

役員				職員		
理事		監事	計	職員*	期間契約 ・嘱託	計
非常勤	常勤					
14	1	3	18	14	7	21

*群馬県農業協同組合中央会からの出向職員1名を含む

(3) 事業・事務局組織体系図

下図のとおり



3. 実施事業の実績

(1) 概要

平成27年度においては、公益目的事業64事業、収益等事業14事業、合計78事業を実施しました。

公益目的事業のうち「畜産経営の安定を図る事業」においては、特に導入費の上昇の影響を受けた肥育牛経営に対して、肉用牛肥育経営安定特別対策事業の補てんが行われ、その事務を行いました。肉用子牛、肉豚においては、販売価格の高値が続いたことから、基金の発動は行われませんでした。

畜産経営の向上を図る事業においては、経営実績に基づく改善情報の提供や調査を継続的に行ったほか、畜産特別資金やABL（動産・債権等を担保対象とした融資）関連指導事業の実施、畜産女性の活躍を後押しするための事業、障がい者の雇用環境整備のための基礎調査等を実施しました。また、TPP総合関連対策として平成27年度補正予算で基金化された畜産クラスター関連事業が開始され、本会は機械導入事業の県窓口として、畜産クラスター計画に基づく導入要望に対するとりまとめ、調整等を行いました。

家畜および畜産物の安全性確保と理解醸成に関する事業では、予防衛生を促進するためのワクチン接種、オーエスキー病清浄化、BSE対策としての死亡牛処理円滑化等の事業を前年度に引き続いて実施するとともに、農場HACCPなど生産段階における安全性確保への取り組みに対して支援を行いました。さらに、獣医師の指導のもとに農場の衛生管理を強化しようとする取組を支援しました。また、畜産への消費者の理解を促進するために、牧場体験やイベントにおける広報活動を実施しました。

さらに、家畜の能力向上を促進する事業では、優良種畜の導入や飼養頭数増加に取り組む生産者への支援のほか、平成29年度に開催予定の全国和牛能力共進会への出品牛選定のための具体的な取り組みを実施しました。また、10年ぶりに開催された全日本ホルスタイン共進会への出品をサポートし、優秀な成績を収めることができました。

収益等事業では、乳牛、和牛、豚、山羊の各家畜の血統登録を積極的に推進したほか、養豚の価格差補てん事業への参加に必要な事務を生産者から受託して行いました。また、県内生産者団体等からの事務を受託して、地域の畜産振興に努めました。

平成27年度は総じて堅調な畜産物価格が続きましたが、本会が実施する価格差補てん関係事業への参加頭数や家畜登録・登記頭数の動き等から見ると、生産基盤の収縮が続いていることは明らかであり、今まで以上に生産者の事業継続への意欲を高めるための事業、取組を活発化させる必要があります。畜産クラスター関連事業をはじめ、行政施策に対応した機動的な事業の取り組みとともに、畜産を取り巻く中長期的な課題や実態を十分に踏まえた対策も併せて求められていると言えます。

(2) 事業の実施状況

1) 会計区分別実施事業内訳

会計区分	補助事業	助成事業	特別事業	受託事業	家畜登録	事務受託	自主事業	計
公1(1)経営安定支援	5			1			1	7
公1(2)経営向上支援	8	1	1	6			8	24
公1(3)安全・理解	6	1		8			7	22
公1(4)能力向上	5		2	1			3	11
収1(1)家畜登録					5			5
収1(2)生産者事務						1		1
収1(3)団体事務						8		8
合計	24	2	3	16	5	9	19	78

2) 補助元等区分別実施事業内訳

補助元等区分	補助事業	助成事業	特別事業	受託事業	家畜登録	事務受託	自主事業	計
農林水産省	3							3
群馬県	9			1				10
農畜産業振興機構	10			1				11
地方競馬全国協会	1							1
家畜登録団体					5			5
その他団体	1	2		14				17
事務受託先						9		9
その他			3				2	5
自己資金							17	17
合計	24	2	3	16	5	9	19	78

(3) 実施事業の内容

1) 公益目的事業

公1(1) 畜産経営の安定を支援する事業 (ア)

ア 肉用子牛生産者補給金制度

肉用子牛の売買価格が保証基準価格、合理化目標価格を下回った場合に生産者補給金を交付する肉用子牛生産安定特別措置法に基づいて、生産者からの申し込みにより肉用子牛の個体登録事務をおこないました。なお、子牛価格の動きを反映して、補給金の交付はありませんでした。

契約戸数： 327 戸

登録頭数： 13,067 頭

(黒毛和種 2,201 頭、交雑種 9,183 頭、乳用種 1,681 頭、その他肉専 2 頭)

①基金造成状況

品種区分	登録頭数 ①	生産者 積立金単価 ②	地域基金造成額			合計 ③+④+⑤
			生産者	群馬県	機構	
			③	④	⑤	
黒毛和種	1,054	2,200	579,700	579,700	1,159,400	2,318,800
	1,147	1,200	344,100	344,100	688,200	1,376,400
褐毛和種	0	11,900	0	0	0	0
	0	4,600	0	0	0	0
交雑種	4,713	5,000	5,891,250	5,891,250	11,782,500	23,565,000
	4,470	2,400	2,682,000	2,682,000	5,364,000	10,728,000
その他肉専	0	24,400	0	0	0	0
	2	12,400	6,200	6,200	12,400	24,800
乳用種	966	12,700	3,067,050	3,067,050	6,134,100	12,268,200
	715	6,400	1,144,000	1,144,000	2,288,000	4,576,000
計	13,067		13,714,300	13,714,300	27,428,600	54,857,200

②補給金交付状況

品種区分	交付対象		補給金 交付額
	契約者数	頭数	
黒毛和種			
褐毛和種			
交雑種			
その他肉専			
乳用種			
計	0	0	0

イ 肉用子牛生産者補給金制度運営適正化事業（補助：農畜産業振興機構）

肉用子牛生産者補給金制度の事務推進に対する補助を受けました。

ウ 肉用子牛生産者補給金制度運営体制支援事業（補助：農畜産業振興機構）

肉用子牛生産者補給金制度の円滑な実施に必要な事務体制の整備に対する補助を受けました。

エ 肉用牛繁殖経営支援事業（補助：農畜産業振興機構）

肉用子牛生産者補給金制度を補完し、子牛売買価格が発動基準を下回った場合に差額の

一部を補てんする事業ですが、前年度に引き続き発動はありませんでした。

対象戸数： 142 戸

公 1(1) 畜産経営の安定を支援する事業（イ）

ア 肉用牛肥育経営安定特別対策事業（補助：農畜産業振興機構）

肉用肥育牛の粗収益が生産コストを下回った場合にその差額の一部を補てんする全国的な仕組みにおいて、契約生産者の肥育牛について申し込みにより個体登録事務をおこなうとともに、交付基準を満たした品種等について補てん金を交付しました。補てんは通常、四半期を単位としますが、肉用牛肥育経営の抱える状況を反映し、前年に引き続き、毎月交付を前提とした事務処理を行いました。

契約戸数： 275 戸

登録頭数： 24,721 頭

（黒毛和種 9,898 頭、交雑種 12,827 頭、乳用種 1,994 頭）

補助戸数： 延べ 344 戸

補助頭数： 3,642 頭

（黒毛和種 0 頭、交雑種 3,129 頭、乳用種 513 頭）

①基金造成状況

品種区分	登録頭数①	生産者積立 金単価②	基金造成額		合計 ③+④
			生産者 積立金	補助金④	
			③=①×②		
肉 専 用 種	1,780	18,000	32,040,000	96,120,000	128,160,000
	8,118	10,000	81,180,000	243,540,000	324,720,000
交 雑 種	1,753	30,000	52,590,000	157,770,000	210,360,000
	11,074	25,000	276,850,000	830,550,000	1,107,400,000
乳 用 種	451	20,000	9,020,000	27,060,000	36,080,000
	1,543	17,000	26,231,000	78,693,000	104,924,000
計	24,721		477,911,000	1,433,733,000	1,911,644,000

②補助金交付状況

品種区分	交付対象		補てん金 交付額
	契約者数	頭数	
肉 専 用 種	0	0	0
交 雑 種	234	3,129	33,281,100
乳 用 種	110	513	11,632,300
計	344	3,642	44,913,400

イ 肉用牛肥育経営安定特別対策事業（緊急支援金返還業務）（補助：農畜産業振興機構）

原子力発電所事故の影響をうけ出荷自粛や牛枝肉価格下落により資金繰りが悪化した肉用牛肥育経営に、平成23年度において返還条件付補助金を交付した事業の支援金返還事務を実施しました。

対象戸数： 3戸

ウ 畜産物価格安定対策事業（補助：群馬県）

肉用牛肥育経営安定特別対策事業において、個体登録頭数が前年度に比して増加した契約生産者に対し、増加頭数に応じて生産者積立金への補助を実施しました。

補助戸数： 275戸

補助頭数： 1,516頭

エ 価格安定推進支援事業（自主）

肉用牛肥育経営安定特別対策事業において、補助金交付を円滑に実施するために必要な事務を行いました。

公1(1) 畜産経営の安定を支援する事業（ウ）

ア 養豚経営安定対策事業（受託：農畜産業振興機構）

豚枝肉平均価格が保証基準価格を下回った場合に、生産者と国の積立から差額の8割を補てんする事業に関する周知、指導、事務を実施しました。

対象戸数： 205戸

公1(2) 畜産経営の向上を支援する事業（ア）

ア 地域畜産支援指導等体制強化事業（補助：地方競馬全国協会）

本会が実施する畜産経営への支援活動、消費者等への理解増進活動、食育への参画、地方競馬の振興等に関する各事業を補完し、その効果を高めるための補助を受けました。

対象事業： 12事業

イ 経営流通対策事業（経営指導推進）（補助：群馬県）

畜産経営の経営改善計画、資金利用計画等の作成・達成のための個別支援、畜産経営データベース等の情報化技術を活用した個別・集団支援、畜産経営の高度化に必要な情報の提供や支援、企業的経営等の多様なニーズに対応した経営支援等を実施しました。また、消費者等から求められる安全で安心な国産畜産物の生産、資源循環の中心としての畜産の役割を十分に果たす観点から、畜産農家が求める経営技術に有用な情報を提供しました。

個別指導	:	100回
集団指導	:	18回
計画作成支援	:	3回
計画達成支援	:	52回
生産支援（個別）	:	678回
生産支援（集団）	:	236回
情報提供	:	1,400回

ウ 畜産特別資金等推進指導事業（補助：中央畜産会）

借入金の償還に困難が生じている経営に低利、長期で貸付された畜産特別資金借入者の経営改善を促進するために、指導推進協議会の設置、計画達成指導、経営分析による個別指導等を実施しました。

指導戸数： 23戸

エ 畜産動産担保融資活用事業（受託：中央畜産会）

畜産動産担保融資モデルを設定し、融資スキームの作成、問題点等の検討を行うため、融資実績のある融資機関の調査を実施しました。

調査件数： 3件

オ 地域畜産基盤維持継続緊急対策事業（助成：中央畜産会）

地域の畜産基盤の維持を図るため、地域内の肉用牛および養豚経営に対し、技術レベルの把握、自己の経営技術の水準等を知るために、ベンチマーキングの手法により評価を行い、その結果をもとに指導資料を作成する全国規模の取り組みに参画しました。

対象戸数： 23戸

カ 公庫資金活用推進事業（農業経営サポート調査）（受託：中央畜産会）

日本政策金融公庫資金の貸付先等を対象に、計画作成支援、計画達成支援等を実施する事業ですが、今年度のサポート対象はありませんでした。

キ 貸付事業指導等事業（受託：畜産近代化リース協会）

畜産近代化リース協会が生産者に貸付けた機械・車両等の保守管理及び適正な使用に関する指導を実施しました。

指導件数： 17件

ク 乳用種初生牛生産費調査（受託：中央畜産会）

酪農生産現場から生産されるヌレ子の生産費用等の基礎データに関する調査を実施しました。

調査戸数： 10 戸

ケ 大家畜DB活用推進事業（自主）

本会が管理及び運営している大家畜経営データベースから得られる県内酪農経営及び肉用牛経営の生産情報の活用について、生産者等に広く啓発活動を行いました。

コ 和牛繁殖雌牛データ作成システム構築事業（自主）

和牛登記・登録データを活用し、繁殖経営の指導に有用な情報を提供するシステムの開発を行いました。

サ 公共牧場活性化支援事業（自主）

家畜の育成等を目的とした県内公共牧場の管理技術等についての情報交換を支援するための研修会を開催しました。

対象牧場数： 9 牧場

研修会： 1 回

シ 畜産協会情報提供事業（自主）

畜産農家に有用な情報等を掲載した情報誌を発行して、生産者、関係団体等に配布するとともに、本会ホームページにおいて広く情報を提供しました。

発行回数： 4 回

発行部数： 1,600 部

ス 畜産環境保全支援事業（自主）

補助事業等により設置したふん尿処理施設の抱えている課題等に関する現地調査および現地指導を実施し、さらに畜産環境保全に必要な知識の涵養を図る研修会を開催し、家畜ふん尿の適切な処理を推進しました。

現地調査及び指導戸数： 3 戸

研修会： 1 回

セ 豚枝肉格付分析情報提供事業（自主）

豚枝肉格付データを収集・分析し、その結果に基づいて個別に高品質豚肉生産のための指導書を四半期毎に作成、配布しました。

参加戸数： 70 戸

公1(2) 畜産経営の向上を支援する事業（イ）

ア 獣医師養成確保修学資金貸与事業（補助：農林水産省）

獣医学を専攻する学生のうちで産業動物獣医師を志す者に対し、共同負担者とともに修学資金を貸与しました。

貸与人数： 16人

イ 酪農ヘルパー傷病時等利用互助事業（補助：農畜産業振興機構）

酪農従事者が病気、事故等により就業不能となり、ヘルパー利用が一時的に増加した場合の利用料負担の軽減を図るため、増加分の経費の一部を補助しました。

補助件数： 64件

ウ 酪農ヘルパー労働環境整備事業（補助：農畜産業振興機構）

酪農従事者が病気、事故等により就業不能となり、ヘルパー利用が一時的に増加した場合の利用料負担の軽減を図るため、増加分の経費の一部を補助しました。

補助件数： 8件

エ 酪農経営安定化支援ヘルパー事業（補助：農畜産業振興機構）

酪農ヘルパーの組合間利用、事務費用等に必要な費用の一部を補助しました。

対象組合数： 6組合

オ 酪農ヘルパー事業円滑化支援事業（自主）

酪農ヘルパーの育成・定着を図るために必要な体制の整備及び酪農ヘルパー要員の確保、ヘルパー作業の適切な実施に必要な資格の取得等に必要な経費に対する補助を実施しました。

補助組合数： 11組合

カ 酪農ヘルパー傷病時等利用互助事業事務費（自主）

酪農ヘルパー傷病時等利用互助制度の運営、加入契約事務等を実施しました。

契約戸数： 409戸

加入者数： 854人

キ 畜産人材確保育成事業（自主）

県内で開催された就農相談会等において、畜産業への求職者等に対し、群馬県内畜産経営への就職ガイダンスを行いました。

相談会： 1回

ク 女子力発揮推進事業（受託：中央畜産会）

畜産経営に携わる女性を参集して意見交換等を行うとともに、勉強会の開催により地域の畜産女性リーダーの育成を図りました。

意見交換会： 1回

勉強会： 6回

ケ 障がい者参画推進支援事業（受託：中央畜産会）

障がい者の畜産現場への就業参画を推進するため、就業環境や就業条件、課題等についてアンケート調査を実施しました。

調査対象： 22 か所

公1(3) 家畜及び畜産物の安全性確保と理解醸成に関する事業（ア）

ア 生産振興対策事業（県産鶏卵販売強化）（補助：群馬県）

消費者に鶏卵の栄養知識を普及するための資料作成と活動を実施するとともに、イベントに参加し県産鶏卵の宣伝活動を実施しました。

イベント回数： 1回

広告掲載： 2回

冊子作成： 2,800部

イ 群馬の堆肥普及事業（自主）

良質な堆肥を家庭菜園愛好者等に配布して、畜産に対する理解醸成と堆肥の利用促進を図りました。

実施回数： 1回

参加者数： 500人

ウ 地方競馬支援対策事業（自主）

地方競馬の振興と群馬県産畜産物の知名度アップを図るため、浦和競馬場において冠レースを開催し、副賞授与を行いました。

エ 畜産普及啓発推進事業（自主）

「群馬県酪農畜産フェスティバル」において、馬事及び畜産に対する理解の促進を図るための催しを実施しました。

オ 牧場宿泊体験交流事業（自主）

酪農場を訪問し、搾乳、飼料給与、畜産物加工などの体験教室を宿泊及び日帰りで実施し、畜産への理解を深めました。

実施回数： 2回

参加者数： 63人

公1(3) 家畜及び畜産物の安全性確保と理解醸成に関する事業（イ）

ア 死亡牛緊急検査処理円滑化推進事業（補助：農林水産省）

48ヶ月令以上の死亡牛のBSE検査を円滑に実施するため、死亡牛の輸送、検査に必

要な経費の一部を補助しました。

補助戸数： 487 戸

補助頭数： 1,745 頭

イ 牛せき柱適正管理推進事業促進費交付業務（受託：日本畜産副産物協会）

牛せき柱の適正な管理を実施した食肉処理事業者に支払われる促進費の交付に必要な確認事務を行いました。

対象事業者数： 4 社

公 1 (3) 家畜及び畜産物の安全性確保と理解醸成に関する事業（ウ）

ア 家畜防疫互助基金支援事業（補助：農畜産業振興機構）

海外悪性伝染病が発生した場合に、淘汰した牛、豚の代替畜の導入費用や殺処分した家畜の埋却費用の一部を生産者等が互助補償する全国的な仕組みについて、普及啓発、参加手続き事務等を実施しました。

牛農場： 757 戸 94,486 頭

豚農場： 172 戸 598,479 頭

公 1 (3) 家畜及び畜産物の安全性確保と理解醸成に関する事業（エ）

ア 家畜衛生対策事業（補助：群馬県）

地域ぐるみで豚オーエスキー病ワクチンの全頭接種を実施した場合に、接種に要する費用の一部を補助しました。

交付戸数： 69 戸

対象頭数： 398,460 頭

イ 家畜生産農場清浄化支援対策事業（補助：農林水産省）

豚オーエスキー病、牛の流死産を引き起こす疾病の発生・流行防止のためのワクチン接種費用の一部を補助して、家畜の損耗防止と経営の安定を図りました。また、豚オーエスキー病の清浄化を促進するための感染豚の淘汰に補助しました。さらに、農場の生産衛生の改善を目的として獣医師を派遣し、継続的な指導を実施しました。

1) ワクチン接種

牛： 276 戸 8,021 頭

豚： 69 戸 398,460 頭

2) 感染豚淘汰

交付戸数： 5 戸

対象頭数： 40 頭

3) 農場指導

指導農場数： 144 戸

ウ 豚流行性下痢（PED）まん延防止体制支援強化事業（受託：家畜衛生推進協議会）

国のPED防疫マニュアルに基づいて予防接種に取り組む農場が、獣医師による衛生管理点検指導を受けた場合に、奨励費を交付しました。

指導農場数： 56 戸

エ 農場飼養衛生管理強化推進事業（自主）

農場の生産衛生の改善を促進・強化するために、家畜生産農場清浄化支援対策事業が対象としない農場に獣医師を派遣し、継続的な指導を実施しました。

指導農場数： 66 戸

オ 豚オーエスキー病清浄化推進事業（受託：群馬県）

豚オーエスキー病の清浄化を推進するため、対策協議会の開催、清浄化推進データの蓄積、広報等を実施しました。

協議会の開催： 4 回

カ オーエスキー病抗体検査促進事業（自主）

豚オーエスキー病の早期清浄化を図るため、生産者がウイルス抗体保有状況を調査した実績に応じて奨励費を交付しました。

調査戸数： 54 戸

調査頭数： 562 頭

公 1 (3) 家畜及び畜産物の安全性確保と理解醸成に関する事業（オ）

ア 生産振興対策事業（優良はちみつ生産）（補助：群馬県）

抗生物質等の残留検査に対する補助を実施して、はちみつの品質向上を図りました。

検査件数： 127 件

イ 予防注射推進強化対策事業（助成：中央畜産会）

家畜防疫事業の推進と予防注射の実施の徹底を図るため、資料等を配付して普及啓発を図りました。

ウ 地域自衛防疫体制推進事業（受託：家畜衛生推進協議会）

自主防疫活動の重要性についての普及啓発活動を行い、伝染性疾病の発生予防などの防疫措置の徹底に努めました。

防疫演習： 5 地域

白血病対策： 6 農場

エ 農場HACCP認証普及推進支援対策事業（受託：中央畜産会）

農場のリスクマネジメントに有用な方式であるHACCPの実施体制等について認証する「農場HACCP認証」の普及を図るため、農場における衛生管理の取組の現状、取組上の問題点等について協議し、農場HACCP構築支援を実施しました。

協議会： 2回

指導戸数： 6戸

オ 馬インフルエンザ等防疫強化特別対策事業（受託：中央畜産会）

馬伝染性貧血の清浄性確保のための調査及び検討会を実施しました。

調査戸数： 49戸

検討会： 1回

カ 馬飼養衛生管理特別対策事業（受託：中央畜産会）

競走馬以外の馬飼養者の衛生管理に関する調査を実施して、馬衛生管理技術の向上を図りました。また競走馬以外の馬飼養者を対象にした講習会を開催しました。

対象戸数： 22戸

講習会： 1回

キ 野生獣衛生体制整備緊急対策事業（受託：中央畜産会）

家畜疾病の感染源となりうるイノシシ、シカ等の抗体保有状況等を調査するため、狩猟者等との連携、協力を図り、検体の検査機関への送付、検査結果のとりまとめ等を行いました。

イノシシ： 11頭

シカ： 11頭

ク 家畜衛生推進事業（自主）

家畜生産農場清浄化支援対策事業の補完事業として、事業を円滑に実施するために必要な事務、予防注射に必要な資材の購入、注射に要した費用の支払い事務等を実施しました。

牛： 381戸 12,562頭

豚： 125戸 643,126頭

公1(4) 家畜の能力向上を促進する事業

ア 生産振興対策事業（家畜登録促進）（補助：群馬県）

家畜の血統整理や登録・登記を推進するため、有資格者の育成研修会への派遣を行いました。

派遣人数： 10人

イ 生産振興対策事業（乳牛等改良促進）（補助：群馬県）

畜種ごとに県域等を対象とした家畜共進会を開催しました。また、全日本ホルスタイン共進会への出品をサポートしました。

① 群馬県共進会出品頭数

乳牛： 67頭

繁殖和牛： 47頭

肉豚： 14組 100頭

山羊： 37頭

② 全日本ホルスタイン共進会出品頭数

乳牛： 12頭

ウ 生産振興対策事業（優良繁殖雌牛増頭）（補助：群馬県）

① 優良繁殖雌牛導入

一定の要件を満たして肉用牛生産者集団が導入した優良繁殖雌牛に対して補助を行い、本県肉用牛繁殖基盤の強化を図りました。

導入戸数： 27戸

導入頭数： 40頭

② 育種価評価活用促進

繁殖牛の育種価データの評価・解析により育種価情報を提供するとともに、解析結果を活用した育種価の普及促進のための研修会を開催しました。

データ数： 63,790件

評価頭数： 5,007頭

研修会： 1回

エ 生産振興対策事業（高能力純粋種豚安定供給体制確立）（補助：群馬県）

① 優良純粋種豚導入

国内から優良種豚を導入し、種豚生産者組織を通じて生産者に貸し付けました。

導入頭数： 17頭

② 生産管理指導

種豚生産農場における飼養管理技術の向上を図るため、衛生管理状況および種豚生産利用調査を実施しました。

調査戸数： 5戸

オ 肉用牛経営安定対策補完事業（補助：農畜産業振興機構）

1年間に要件を満たす繁殖雌牛の飼養頭数が増加した事業参加経営に対し、実績に応じ

て奨励費を交付しました。

交付戸数： 47 戸

交付頭数： 128 頭

カ 高能力繁殖雌牛保留推進事業（特別：家畜改良積立金）

繁殖能力の向上を図るため、高等登録牛から生産される雌子牛の保留を促進するために奨励金を交付しました。

交付頭数： 12 頭

キ 和牛全共出品対策事業（特別：家畜改良積立金）

第10回全国和牛能力共進会出品牛作出のための計画策定、優良な受精卵導入への補助、出品候補牛調査、広報活動等を実施しました。

補助戸数： 26 戸

候補牛頭数： 12 頭

ク 肉用牛産肉能力平準化促進事業（受託：家畜改良事業団）

肉用牛の産肉能力を評価するために、種雄牛を指定して交配する「調整交配」を実施し、その結果を調査してとりまとめました。

調整交配実施頭数： 84 頭

生産調査牛： 61 頭

ケ 家畜共進会運営強化推進事業（自主）

地域で行う家畜共進会関連事業の実施に必要な費用の一部を助成しました

対象共進会数： 7 件

コ 和牛期待育種価情報提供サービス事業（自主）

肉用牛繁殖農家、家畜人工授精師、獣医師及び畜産関係団体を対象として、父牛及び母牛の育種価から推定される生産子牛の期待育種価情報を、本会が開発したシステムによりインターネット上で提供しました。

利用者数： 5 人

サ 山羊生産活用推進事業（自主）

日本ザーネン種の普及、活用を推進するための情報交換会を開催しました。

参加者数： 68 人

2) 収益事業等

収1(1) 家畜の登録団体からの業務委託に関する事業

ア 家畜登録事業（自主）

登録申し込みのあった家畜（乳牛、和牛、豚、山羊）の個体の確認、体型・特徴の記録、DNA検査のための試料採取、血統の確認、登録料の代行収受、登録証の送付等の事務を実施しました。

	登録・登記・ 審査・検定	調査及び 移動証明
乳牛	3,583 頭	1,215 頭
和牛	7,349 頭	2,339 頭
種豚	285 頭	2,100 頭
山羊	66 頭	0 頭

収1(2) 畜産生産者からの事務受託等に関する事業

ア 養豚経営安定対策推進事業（自主）

豚枝肉価格が保証基準価格を下回った場合に、契約を締結した肉豚生産者に対してその差額の8割を補てんする事業への参加申し込み、補助金受け取り手続き等の事務を参加者から受託しました。

受託戸数： 148 戸

契約頭数： 495,080 頭

収1(3) 畜産団体からの事務受託に関する事業

事務受委託契約に基づき、以下の団体の事務を受託しました。

- ① 群馬県養鶏協会
- ② 群馬県種鶏孵卵協会
- ③ 群馬県養蜂協会
- ④ 群馬県養豚協会
- ⑤ 群馬県乳牛改良協会
- ⑥ 群馬県和牛改良組合連絡協議会
- ⑦ 群馬県家畜人工授精師協会
- ⑧ 群馬県畜産技術連盟